

革新的設計生産技術

# 革新的ものづくりー従来にない新機能、高性能など 高付加価値を実現するものづくり

## 特 長

### ■デライトなものづくりで日本を再興

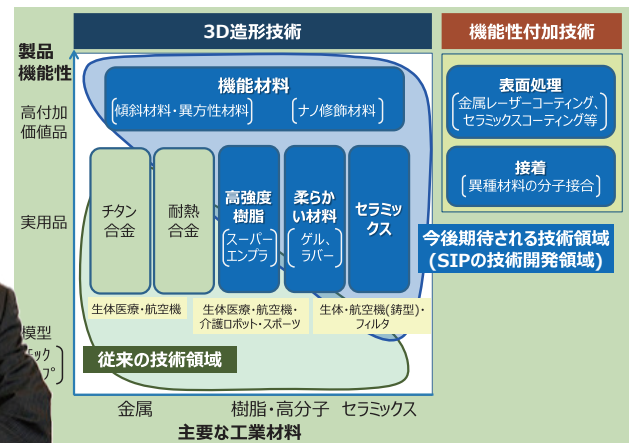
近年の激しい国際競争に打ち勝つためには、従来にない付加価値の高い製品を生み出す、デライトなものづくりが必要です。本プログラムでは、企業・個人の多様なニーズに応える、従来にない素材や機能をもつ製品を実現する革新的な設計・生産技術を中心とした革新的ものづくり技術を開発、実用化し、地方の中堅・中小企業がそれをトライアルできる活用を構築しました。新しい技術の体験を通じて得られる新たな発想を起点として、高付加価値製品を創出し、日本のものづくりの産業競争力強化(グローバルトップを獲得)や地方創生(地域発のイノベーション実現)をめざします。



革新的ものづくりの考え方



プログラムディレクター  
佐々木 直哉



本プログラムの技術開発領域

## テストユース・適用事例

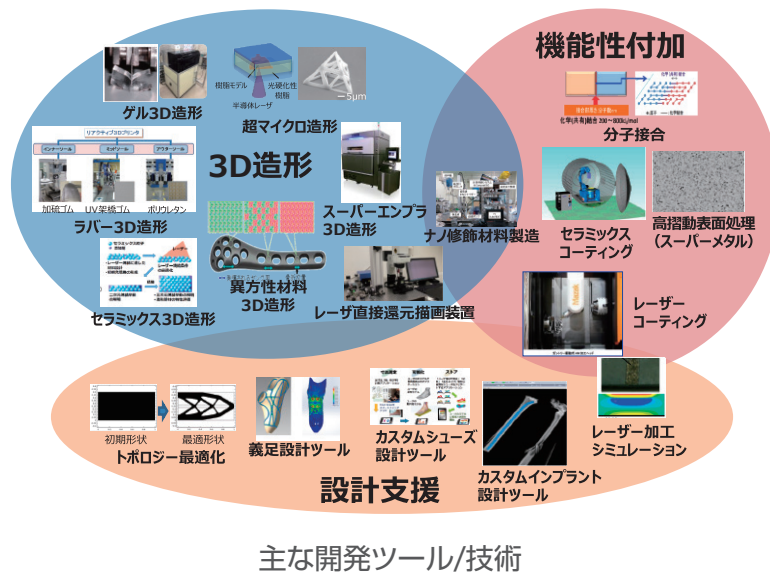
今後の成長産業、新事業分野であるヘルスケア産業、自動車や航空機など先端産業分野の製品を中心にテストユースを実施し、開発したツール/技術の実用化を推進しました。



## 研究成果

■研究成果として、製造装置やソフトウェアなど、企業での実用に資するツール/技術を  
ツール販売、活用への設置などを通じて、産業界へ提供していきます。

- ・多様な材料応用および新材料開発をめざした3D造形のツール/技術 13件
- ・高耐性など多様な機能を実現する接合や表面処理等の機能性付加のツール/技術 7件
- ・高付加価値な製品設計をめざした、シミュレーションや最適化など設計支援ツール/技術 10件



## 今後の展望

研究成果の普及展開に向けて、国内外の企業が、ツール/技術や活用の場の情報にワンストップでアクセス可能なSIPものづくりネットワークを提供します。ワンストップWEBポータル(<http://www.sip-monozukuri.jp/>)を基点に、強いツール/技術をSIP終了後も継続して提供していきます。これらを通じて、産業界に成果の活用を進めていただくとともに、活用を通じてツール/技術がさらにブラッシュアップされ、より魅力的なものに育っていくという好循環をめざしています。



プロジェクト名称：革新的設計生産技術

実施機関：内閣府(管理法人 NEDO) <http://www.sip-monozukuri.jp/>